

# NEWS RELEASE



2022年5月20日  
浜松市中区旭町12-1  
遠州鉄道株式会社

各位

## 遠鉄グループ2021年度決算 ならびに遠鉄グループの人事異動等について

- 1. 遠鉄グループ2021年度決算について**（別紙のとおり）
  - (1) 遠鉄グループセグメント別（事業別）の概況
  - (2) 業績推移（連結決算・セグメント別営業収益・セグメント別営業利益）
  - (3) 遠鉄グループ各社の主な事業内容
  
- 2. 遠鉄グループの人事異動について**（別紙のとおり）

## 1. 遠鉄グループ 2021 年度決算について

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が断続的に発出され、経済活動は大幅な制限を受けたものの、感染状況の落ち着きに伴い個人消費が上向き、国内景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかし、年明けからのオミクロン株の急激な感染拡大や、ロシアのウクライナ軍事侵攻による国際情勢の緊迫化などの影響により、景気動向の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループでは、人材の適材適所の配置転換や、土地・建物の相互活用など、経営資源を有効に活用すべく、全社横断的な取組みをこれまで以上に推進し、グループの総合力を発揮することで経営環境の変化に対応してまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、営業収益1,776億4千2百万円（前連結会計年度比3.9%減少）、経常利益31億6千7百万円（前連結会計年度比7.9%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億4千8百万円（前連結会計年度比39.3%減少）となりました。

なお、当連結会計年度より事業セグメントの見直しを行い、「レジャーサービス業」及び「その他の事業」の一部を新たに「ウェルネス事業」として区分して記載しております。

### （1）遠鉄グループセグメント別（事業別）の概況

#### ① 運輸事業（鉄道事業・バス事業・タクシー事業など）

鉄道事業におきましては、お客様の安全確保と利便性向上のため、昨年7月より八幡駅の耐震補強・バリアフリー工事を開始しました。2023年2月の完成を目指し、段階的に工事を進めてまいります。また、安全確保・旅客サービスの向上を目的とした投資を継続的に実施すべく、本年2月に消費税率アップに伴う改定を除き39年ぶりとなる旅客運賃の改定を行いました。

バス事業におきましては、利用実態に応じた事業体制への移行を図るべく、浜松南営業所を車庫化し、磐田営業所に統合するなど営業拠点を再編しました。安全性向上と業務改善の両立のため、デジタル点呼を導入し、運営体制の効率化に努める一方、昨年4月より浜松市内の特別支援学校2校の通学バス運行業務を受託し、運行を開始するなど、収益の拡大を図りました。

タクシー事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の変化に対し、勤務体制を細かく調整して雇用維持を図るとともに、若手乗務員をグループ化し、指導・意見交換の場を設けるなど社員教育を見直すことで、営業基盤の強化に努めました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は、86億2百万円（前連結会計年度比9.9%増加）となりました。

#### ② リテールサービス事業（百貨店業、食品スーパー業など）

百貨店業におきましては、昨年9月に「ユニクロ遠鉄百貨店」を新館3階にオープンするとともに、本館2・3階を改装し、若年層やファミリー層に人気のブランド・専門店を取り揃え、幅広い顧客層の取り込みを図りました。また、本館7階のギフトサロンを移設・拡大することで、百貨店の強みであるギフト対応商材の品揃え充実と提案力の強化に努めました。

食品スーパー業におきましては、昨年7月に「遠鉄ストア豊橋曙店」を豊橋市に初出店し商圏の拡大を図るとともに、本年2月には菊川店のリニューアルと同時に「シャトレゼ遠鉄ストア菊川店」をオープンし、施設の魅力向上に努めました。また、昨年8月よりお客様のご自宅前や高齢者施設などを巡回して商品の販売を行う「移動スーパー」の運営を開始しました。地域社会を支えるセーフティネットの構築に貢献するとともに、浜松市・磐田市の幅広いエリアの購買需

要をカバーし、販路の拡大を図りました。

以上の結果、リテールサービス事業の営業収益は、641億5千6百万円（前連結会計年度比3.1%減少）となりました。

### ③ モビリティサービス事業（自動車販売業、石油製品販売業など）

自動車販売業におきましては、新発売の「カローラクロス」やフルモデルチェンジ車を中心にお客様に積極的な提案を行った結果、新車受注台数は順調に推移しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大や半導体をはじめとする部品不足などにより、納車が大幅に遅れ、新車の販売台数は伸び悩む結果となりました。一方、納期が早い小売中古車においては、新車店舗でも販売に注力した結果、販売台数が順調に推移しました。トヨタレンタリース浜松では、営業エリアの拡大と静岡トヨタ自動車との連携強化を図るべく、昨年8月に静岡トヨタ自動車三島店内に「三島代車センター」を開設しました。

石油販売業におきましては、本年2月に「富塚SS」をセルフSSへ改装するとともに、24時間営業店舗としてリニューアルオープンし、収益の拡大に努めました。

以上の結果、モビリティサービス事業の営業収益は、695億8百万円（前連結会計年度比4.7%減少）となりました。

### ④ 不動産事業（不動産業、建設工事業など）

新築分譲マンションでは、「ブライトタウン早出ザ・コート」などの販売が順調に推移し、57戸をお引き渡ししました。また、昨年7月に販売を開始し、来年2月に竣工予定である「ブライトタウン浜松ザ・フロント」の全39戸が完売となるなど、契約数が順調に推移しました。自社賃貸マンションでは、本年3月に中区早出町に「ブリアージュ早出」が竣工し、全20戸が満室となりました。建設から入居募集、管理までを自社で行うビジネスモデルを構築し、収益の安定確保に努めています。

住宅事業では、昨年7月に太陽光発電と大容量蓄電池を標準搭載した「電力自給自足型住宅」のモデルハウスを中区早出町にオープンしました。また本年1月にはコロナ禍で関心が高まった「おうちアウトドア」を提案するモデルハウスを袋井市可睡の杜にオープンするなど、脱炭素社会の実現に向けた動きやライフスタイルの変化に柔軟に対応することで新たな需要の獲得に努め、注文住宅112棟、分譲住宅101棟、分譲土地72区画をお引渡ししました。

建設工事業では、不動産事業の賃貸マンション建設を請け負うことで施工ノウハウ・実績を蓄積し、自社の施工技術と営業力の向上に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は、154億7千1百万円（前連結会計年度比1.3%減少）となりました。

### ⑤ ウェルネス事業（介護事業、保険代理業、旅行業、ホテル業など）

介護事業におきましては、本年3月に浜松市東区で3事業所目となる「ラクラス笠井デイサービス」を開設しました。西ヶ崎、原島デイサービスに続き、2年間で3施設を開設し、同エリアにおける顧客の拡大を図りました。

保険代理業におきましては、首都圏における営業強化を図るため、昨年9月に東京営業所を国立市から新宿区へ移転しました。都心部に営業拠点を構えることで、採用競争力の強化と営業活動の効率化に努めました。

旅行業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による行動制限や、団体旅行需要の

低迷に伴い、バンビツアーの募集・催行を中止した一方、修学旅行など教育市場への外販営業を強化し、顧客獲得の拡大に努めました。

ホテル業におきましては、遠鉄観光開発では、新型コロナウイルス感染症の影響によりホテル九重の休館を続けてまいりましたが、維持・管理のために継続的な投資が必要なことや、火災や防犯上のリスクなどをふまえ、昨年10月に営業を終了し、建物の解体に着手しました。ホテルウェルシーズン浜名湖においては、個人・少人数利用の需要獲得に努める方針を継続し、昨年9月から本年2月にかけてスカイコート棟の全客室の改装工事を実施しました。

以上の結果、ウェルネス事業の営業収益は、92億3千5百万円（前連結会計年度比13.9%増加）となりました。

## ⑥ その他の事業

（自動車運転教習業、情報サービス業、ビル管理業、業務請負業、ソフトウェア開発業など）

ビル管理業におきましては、昨年4月より遠鉄百貨店本館・新館の警備業務を開始しました。設備管理から清掃、警備まで、総合的なビル管理サービスを提供できる体制の構築を推進し、競争力の強化に努めました。

業務請負業におきましては、昨年4月に磐田市の竜洋海洋公園一帯9施設の指定管理業務を受託し、施設の管理・運営を開始しました。多様な施設の運営を通じ、利用者の利便性向上と地域の活性化に貢献するとともに、収益の拡大に努めました。

ソフトウェア開発業におきましては、昨年7月に初の海外現地法人となる「遠鉄ベトナム有限会社」をベトナム・ハノイに設立しました。顧客接点のデジタル化を推進すべく、IT技術力の高い技術者を採用し、ソフトウェアやWEBシステムなどを高品質かつスピーディーに開発してまいります。

以上の結果、その他の事業の営業収益は、106億6千5百万円（前連結会計年度比24.4%減少）となりました。

## (2) 業績推移

### ① 連結決算

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度 比	2022年度 (予測)	2020年度 比	2021年度 比
営業収益	216,214	184,875	177,642	96.1%	192,600	104.2%	108.4%
営業利益	4,627	2,715	2,614	96.3%	3,200	117.9%	122.4%
経常利益	5,069	3,439	3,167	92.1%	3,400	98.9%	107.4%
当期純利益	1,361	1,233	748	60.7%	1,800	146.0%	240.6%

(注) 金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

### ② セグメント別営業収益

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度 比	2022年度 (予測)	2020年度 比	2021年度 比
運輸事業	14,482	7,829	8,602	109.9%	10,400	132.8%	120.9%
リテールサービス事業	87,586	66,225	64,156	96.9%	64,800	97.8%	101.0%
モビリティサービス事業	71,274	72,916	69,508	95.3%	77,800	106.7%	111.9%
不動産事業	18,128	15,681	15,471	98.7%	17,600	112.2%	113.8%
ウェルネス事業	24,743	8,106	9,235	113.9%	10,900	134.5%	118.0%
その他の事業		14,116	10,665	75.6%	11,100	78.6%	104.1%
合計	216,214	184,875	177,642	96.1%	192,600	104.2%	108.4%

(注) 金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

### ③ セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度 比
運輸事業	△91	△2,240	△942	-
リテールサービス事業	1,133	1,437	1,018	70.9%
モビリティサービス事業	523	1,674	647	38.7%
不動産事業	1,840	1,324	1,093	82.5%
ウェルネス事業	1,260	△878	△240	-
その他の事業		1,145	814	71.1%

(注) 金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(3) 遠鉄グループ各社の主な事業内容 (2022年3月31日現在)

事業区分	事業内容	主要な会社
運輸事業	鉄道事業	遠州鉄道(株)
	一般乗合旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	一般貸切旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	自動車整備業	遠州鉄道(株)
	一般乗用旅客自動車運送事業	遠鉄タクシー(株)
リテールサービス事業	百貨店業	(株)遠鉄百貨店、(株)遠鉄百貨店友の会
	食品スーパー業	(株)遠鉄ストア
モビリティサービス事業	自動車販売業	静岡トヨタ自動車(株) (株)トヨタレンタリース浜松
	石油製品販売業	遠鉄石油(株)
不動産事業	不動産業	遠州鉄道(株)
	建設工事業	遠鉄建設(株)
ウェルネス事業	介護事業	遠州鉄道(株)
	保険代理業	遠州鉄道(株)
	旅行業	遠州鉄道(株)
	ホテル業、遊園地事業	遠州鉄道(株)、遠鉄観光開発(株)
その他の事業	自動車運転教習業	(株)遠鉄自動車学校
	情報サービス業	遠鉄システムサービス(株)
	ビル管理業、業務請負業、 健康スポーツ業、食品検査事業	遠鉄アシスト(株)
	ソフトウェア開発業	遠鉄ベトナム(有)

グループ会社数 14 社 (遠州鉄道含む)

## 2. 遠鉄グループの人事異動について

### ◆遠州鉄道株式会社 役員(就任日:遠州鉄道株主総会日)

新職	旧職	氏名
遠州鉄道(株) 取締役不動産事業本部長	遠州鉄道(株) 取締役 兼 静岡トヨタ自動車(株)専務取締役	鈴木 憲之
遠州鉄道(株) 取締役グループ経営推進本部長【昇格】	遠州鉄道(株) 取締役経営企画部長	野村 和徳
遠州鉄道(株) 取締役【新任】 兼 遠鉄建設(株) 代表取締役社長	遠鉄建設(株) 代表取締役社長	平野 昌利
遠州鉄道(株) 取締役人事部長【新任】	遠州鉄道(株) 人事部長	高林 宏明
遠州鉄道(株) 取締役常勤監査等委員【新任】	(株)遠鉄自動車学校 代表取締役社長	飯尾 圭介
遠州鉄道(株) 取締役監査等委員【新任】(社外取締役)		鈴木 公達

### ◆遠州鉄道株式会社 管理職(6月異動)

新職	旧職	氏名
経営企画部長	(株)遠鉄百貨店 取締役経営推進本部長 兼 総務部長	岡野 裕貴
不動産事業部長【昇格】	遠鉄システムサービス(株) 常務取締役営業本部長	島 康人
旅行営業部長	人事部次長 兼 人事政策課長	石田 博久
経営企画部次長【昇格】 兼 経営企画課長	(株)遠鉄ストア 販売促進部長	磯部 隆一
総務部次長 兼 総務課課長(内部統制担当)	介護事業部次長 兼 介護事業管理課長	内山 正美
人事部次長 兼 人事政策課長	経営企画部次長 兼 経営企画課長	鶴見 英人
介護事業部次長【昇格】 兼 介護事業推進課長	介護事業部介護事業推進課長	鈴木 洋志
運輸事業部次長【昇格】 兼 運輸総務課長	総務部経理課長	萩原 高志
住宅事業部次長 兼 リフォーム課長	住宅事業部次長 兼 積算課長	渡邊 一弘
保険営業部次長【昇格】 兼 生命保険営業1課長	保険営業部 生命保険営業1課長	深谷 和彦
監査室長	静岡トヨタ自動車(株) 総務人事部長	保垣 武
経営企画部 ICT 推進課長【昇格】	遠鉄システムサービス(株)グループシステム1課長	鈴木 陽介
経営企画部課長【昇格】	経営企画部経営企画課副課長	大河 恵介
総務部経理課長【昇格】	経営企画部経営企画課副課長	鈴木 將太
介護事業部介護業務課長	介護事業部課長	鈴木 敏
不動産事業部賃貸管理課長【昇格】	不動産事業部アセットマネジメント課副課長	岩井 優
住宅事業部積算課長【昇格】	住宅事業部積算課副課長	竹内 友翼
住宅事業部住宅企画課長	住宅事業部住宅営業課長	佐野 敬介
住宅事業部住宅営業課長【昇格】	遠鉄建設(株)企画営業課課長代理	井上 賢
(株)遠鉄百貨店 経営推進本部長 兼 総務部長	運輸事業部次長 兼 運輸総務課長	鈴木 篤人
(株)トヨタレンタリース浜松 総務部長	監査室長	戸塚 勝実
遠鉄アシスト(株) ビルサービス事業部長【昇格】	住宅事業部リフォーム課長	山内 友博
遠鉄観光開発(株) 遊園地総支配人	住宅事業部住宅企画課長	石井 宏幸
遠鉄システムサービス(株) グループ情報システム部長	経営企画部 ICT 推進課長	小林 廉
遠鉄システムサービス(株) 総務部次長 兼 IT人材開発課長	介護事業部介護業務課長	石原 守

◆退任役員 遠州鉄道 役員(退任日:遠州鉄道株主総会日)

旧職	氏名
遠州鉄道(株) 取締役不動産事業本部長	石原 誠
遠州鉄道(株) 取締役	河合 正志
遠州鉄道(株) 取締役常勤監査等委員	寺井 昭敏
遠州鉄道(株) 取締役監査等委員(社外取締役)	鈴木 久市

◆遠鉄グループ 常勤役員(就任日:各社株主総会日)

新職	旧職	氏名
(株)遠鉄自動車学校 代表取締役社長	(株)トヨタレンタリース浜松 代表取締役社長 兼 静岡トヨタ自動車(株) 常務取締役	鈴木 雅之
(株)トヨタレンタリース浜松 代表取締役社長【昇任】	(株)トヨタレンタリース浜松 常務取締役営業本部長	辻村 雅也
遠鉄アシスト(株) 代表取締役社長【昇任】	遠鉄アシスト(株) 常務取締役 ビルサービス事業部長	矢田 央生
(株)遠鉄百貨店 専務取締役営業本部長【昇任】	(株)遠鉄百貨店 常務取締役営業本部長	依光 博之
(株)遠鉄百貨店 取締役営業部長【新任】	(株)遠鉄百貨店 営業部長	中村 智則
静岡トヨタ自動車(株) 常務取締役ネットトヨタ浜松営業本部長	静岡トヨタ自動車(株) 常務取締役静岡トヨタ営業本部長	佐野 桂
静岡トヨタ自動車(株) 常務取締役静岡トヨタ営業本部長	静岡トヨタ自動車(株) 常務取締役ネットトヨタ浜松営業本部長	中西 久司
遠鉄タクシー(株) 常務取締役運行営業部長【昇任】	遠鉄タクシー(株) 取締役運行営業部長	榑原 正之
遠鉄観光開発(株) 取締役営業推進部長【新任】	遠鉄観光開発(株) 遊園地総支配人兼営業支配人	竹山 眞弘
(株)遠鉄自動車学校 常務取締役総務部長【昇任】	(株)遠鉄自動車学校 取締役総務部長	鈴木 利昭
(株)遠鉄自動車学校 取締役営業部長【新任】	(株)遠鉄自動車学校 営業部長	大石 成善
遠鉄システムサービス(株) 常務取締役営業本部長【昇任】	遠鉄システムサービス(株) 取締役教育営業部長	佐野 智史

◆退任役員 遠鉄グループ 常勤役員(退任日:各社株主総会日)

旧職	氏名
遠鉄アシスト(株) 代表取締役社長	河野 延之
(株)遠鉄百貨店 専務取締役	小室 克彦

【参考】遠鉄グループ各社 株主総会日

日付	会社名
5月31日	(株)遠鉄百貨店・(株)遠鉄百貨店友の会
6月1日	遠鉄観光開発(株)・遠鉄システムサービス(株)
6月29日	遠州鉄道(株)・上記以外のグループ会社